



## 地域から学び、憧れを持つ下石の子 ～よく考える子 美しい心の子 じょうぶな体の子～

校区には、製陶工場がたくさんあり地域の産業を理解する学習を大切にしています。毎年、全学年が作陶に取り組みます。子どもたちが一生懸命作った作品に、下石工業組合やPTA役員の協力を得て釉薬をかけ、セラテクト土岐で本焼成をします。出来上がった作品は、参観日に「下石っ子陶芸展」として展示します。3年生は、地域の窯元をめぐり、窯元ごとの工夫や努力を学びます。6年生は、伝統工芸士の方からお話を聞いて生き方を学んでいます。



### コロナウイルス感染予防もがんばっています

子どもたちは、登校すると校舎に入る前に健康チェックカードによる体調の確認、児童玄関で上靴に履き替えるとアルコールによる手指消毒をします。みんなでこまめに手洗いをして、コロナウイルス感染予防に努めています。



### 目指すはプロゴルファー

土岐津中学校3年 神谷ももさん

「成田美寿々プロのような、ピンチも笑顔ではねのけるゴルファーになりたい」一。目を輝かせながら話すのは、土岐津中学校3年生の神谷ももさん。3姉妹の真ん中に生まれ、初めてクラブを握ったのは6才の時でした。きっかけは「お姉ちゃんがやっている姿を見て」と笑顔を見せ、この日は市内の練習場で妹と特訓。姉妹で切磋琢磨しています。

昨年は3つの全国大会に出場。特に、第61回日本女子アマチュアゴルフ選手権では、大人も一緒にプレーする中で予選を通過できたことに自信をつけました。「飛距離とスコアでいい結果を出すことが一番の喜び」と技術向上に貪欲な姿勢。新型コロナウイルスの影響で大会がなくなった今は、毎日400球の打ち込みでスイングの定着と飛距離アップ、ショートゲームの正確性向上を目指しています。「大会がない分、今できることに集中したい」と気持ちを切り替え、高校生の全国大会で優勝するという次の目標へ意欲を見せました。